

令和3年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(公財) 札幌市公園緑化協会	所管課	建設局みどりの推進部みどりの推進課
基本財産	40,000千円	記入者	担当 伊藤 電話 011-211-2533
設立年月日	昭和59年(1984年)9月1日	本市出資額	10,000千円 (出資割合 25.0%)
設立・出資目的	<p>(定款) 都市緑化、公園緑地及び自然環境等に関する事業を通して、みどり豊かで潤いのある持続可能な都市づくりを推進するとともに、健全な地域社会の形成と生活文化・福祉の向上に寄与すること。</p> <p>(設立経緯) ①市民ニーズの多様化に伴い、柔軟な対応が求められ、これに加えて行財政の簡素化・効率化を図ることが求められていた。</p> <p>②特殊で高度な管理を要する公園施設が造成されており、専門的な知識・技術を研究・開発・蓄積していく必要があった。</p> <p>③緑豊かで潤いのある街づくりのためには、民有地の緑化を推進することが不可欠であり、そのためには市民との協力による事業展開が必要であった。一方、国においては、各都市における公益法人による基金の創設を提唱し、民有地緑化を推進していた。</p> <p>④豊平川さけ科学館の管理運営は第3セクター方式が適切と考えられていた。</p>	沿革	<p>昭和59年 財団法人札幌市公園緑化協会設立 札幌市都市緑化基金の造成、管理及び運営 札幌市豊平川さけ科学館の管理運営</p> <p>昭和62年 百合が原公園の管理運営</p> <p>平成2年 厚別公園の管理運営</p> <p>平成5年 農試公園屋内広場の管理運営</p> <p>平成7年 豊平公園、平岡樹芸センターの管理運営</p> <p>平成11年 川下公園の管理運営</p> <p>平成12年 大通公園、中島公園、円山公園の管理運営</p> <p>平成13年 平岡公園の管理運営</p> <p>平成15年 モエレ沼公園の管理運営</p> <p>平成18年 指定管理者制度導入による指定管理開始</p> <p>平成22年 国営滝野すずらん丘陵公園の総括管理</p> <p>平成25年 公益財団法人に移行</p>
代表者	理事長(非常勤) 近藤 哲也(市以外)		
主な出資者	① 札幌市 (25.0%) ② (公財) 札幌市公園緑化協会 (75.0%)		
団体所在地	〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目6番地16 ニューワンビル 電話 011-211-2579		

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 都市緑化基金等事業 (7ページ)	② 指定管理等公園施設事業 (8ページ)
札幌市都市緑化基金の造成・管理を行うとともに、各種事業を通じて、民有地緑化の推進と緑化の普及啓発を推進する。また、市民参加・協働等により、みどり豊かで持続可能な都市づくりの推進、コミュニティの活性化を図る。	公園緑地・施設の管理・運営を通じて、都市緑化の推進や自然環境保全に関する普及啓発を行うことにより公共の福祉の増進に寄与する。また、市民参加・協働等により公園緑地・施設が有する役割や機能の充実・発展とコミュニティの活性化を図る。
③ 公園施設等附帯収益事業 (9ページ)	④ 国営公園等受託事業 (10ページ)
公園緑地・施設の管理運営にあたり、当該団体の自立性、自主性を高めるため、市民の利便に資する各種附帯事業の経営を行う。	公園・施設の管理・運営を通じて、都市緑化の推進や自然環境保全に関する普及啓発を行うことにより公共の福祉の増進に寄与する。また、市民参加・協働等により公園・施設が有する役割や機能の充実・発展とコミュニティの活性化を図る。
(2) 総支出に占める事業支出割合 100.0% (主要事業支出合計 1,815,592千円 ÷ 総支出 1,815,591千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	公園緑地の良好な管理、緑化普及啓発等の各種緑化推進施策の実施、公園施設における開かれた管理運営及び市民参加・協働の推進等により、公共の福祉に大きく寄与している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されている <input type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	公園・施設における管理運営、民有地緑化及び緑化普及啓発等に対する市民の意識は多様化しており、これらに的確に対応するため、今後とも市民ニーズに適合した事業の実施が必要である。

3 団体職員・構成員等

令和3年4月1日現在(単位：人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成	
役員					8	10歳代 0	40歳代 21
常勤理事	1	0	0	0		20歳代 1	50歳代 15
常勤監事	0	0	0	0		30歳代 15	60歳代 3
非常勤理事			5			平均年齢 45.6 歳	
非常勤監事			2				
職員					252		
常勤管理職	1	0	8	1			
常勤一般職	1	0	47	130			
非常勤職員			64				

役員任期	
理事	2 年
監事	4 年
代表権のある役員 の就任年月	
理事長	R2.7.1
副理事長	
職員総数の推移(人)	
H31.4.1 時点	254
R02.4.1 時点	225

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分			R1年度決算	R2年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	1,893,895	1,814,864	(100.0%)	(▲ 79,031)
			経常費用(b)	1,866,554	1,815,591		(▲ 50,963)
			うち管理費等(c)	13,063	12,811	(0.7%)	(▲ 252)
			うち人件費(d)	819,056	800,259	(44.1%)	(▲ 18,797)
			当期経常増減額(e)	27,341	▲ 727		(▲ 28,068)
	当期正味財産増減額(f)		19,296	▲ 798		(▲ 20,094)	
	貸借対照表	資産(g)		942,152	963,085		(+20,933)
		流動資産(h)		150,781	162,963		(+12,182)
		固定資産(i)		791,371	800,122		(+8,751)
		うち基本財産(j)		40,000	40,000		(0)
		負債(k)		305,937	318,100		(+12,163)
		流動負債(l)		159,764	172,754		(+12,990)
		固定負債(m)		146,173	145,346		(▲ 827)
		正味財産(n)		636,215	644,985		(+8,770)
借入金残高(o)		0	0		(0)		

R2年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a. b. d	新型コロナウイルス感染防止に係る施設等閉鎖に伴い、利用料金収入や自主事業収入が大幅な減収となるとともに、超勤や燃料費・光熱水費等の費用も減少したものである。
h. l	流動資産の増加は、新型コロナウイルス感染防止に係る施設等閉鎖の補償金によるものである。流動負債の減少は、未払金の増加によるものである。
i. n	正味財産の増加は、固定資産である札幌市都市緑化基金の積立補助金に多額の寄附を受けたことによる。

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R1年度決算	R2年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	3,154	9,386	(+6,232)
市委託料	1,227,354	1,246,012	(+18,658)
市業務委託料	19,245	19,373	(+128)
うち随意契約	19,245	19,373	(+128)
市指定管理費	1,208,109	1,226,639	(+18,530)
うち非公募	0	0	(0)
(参考)再委託額	217,050	216,597	(▲ 453)
うち市業務委託分	344	1,042	(+698)
再委託率	(17.7%)	(17.4%)	(▲ 0.3%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考)市施設利用料金収入	154,151	111,733	(▲ 42,418)
うち非公募			(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R1年度	R2年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	596,215	604,985	(+8,770)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	67.5%	67.0%	(▲0.6%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	94.4%	94.3%	(▲0.0%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	124.4%	124.1%	(▲0.3%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	7,456千円	8,066千円	(+610千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	43.2%	44.1%	(+0.8%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	51千円	57千円	(+6千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	0.7%	0.7%	(+0.0%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	1.2%	1.6%	(+0.4%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	73.1%	75.3%	(+2.2%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	<p>市の補助金(都市緑化基金積立補助金)が増加し、市依存度を高める結果となった。令和2年度の同補助金は、市への寄付(ふるさと納税)が主たる原資であり、寄付者の都市緑化推進への意識の表れといえる。同団体の事業目的である都市緑化の推進及びその普及啓発活動に叶うものでもあり、今後必要な補助であると考えます。</p> <p>流動比率、固定比率ともに昨年とは大きく変わらず、自己資本比率を高く維持し借入の予定もないことから概ね健全である。</p> <p>生産性については、新型コロナウイルス感染症の影響で経常収益が減ったものの昨年並みを維持することができた。</p>					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の総括評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況と集中取組期間の総括評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○出資見直しの検討							
①	市出捐金	目標	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)	15,000千円 (出資比率37.5%)	12,000千円 (出資比率30%)	10,000千円 (出資比率25%)
		実績	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)	20,000千円 (出資比率50%)	15,000千円 (出資比率37.5%)	12,000千円 (出資比率30%)
②	出捐の見直し検討	目標	検討調整	検討調整	検討調整	検討調整	検討調整
		実績		検討調整	検討調整	調整済み	調整済み
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	<p>基本方針に基づき見直しを検討した結果、団体の経営状況等を考慮の上、平成30年度から3か年で段階的に出資を引き上げ、最終的に出資比率を25%まで引き下げることとした。</p> <p>令和2年度に目標が達成されたことにより、出資比率は25%となった。</p>						

(2) 人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○市職員派遣の継続							
①	市職員派遣数	目標		1人	1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	1人	0人
②	市職員の評議員への就任数	目標		1人	1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	1人	1人
③	市職員の役員への就任数	目標		1人	1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	1人	1人
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	<p>市職員の派遣は、当該団体の運営体制などを踏まえ人的関与の見直しを行い、令和元年度末に本市職員の派遣を引き揚げた。</p> <p>主要出資者としての経営責任があることから、市職員（退職者）の役員への就任により札幌市としての責任を引き続き果たしていく。</p>						

(3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○団体の専門性を活かした新たな事業の展開							
①	教育・専門機関との共同研究等実施件数	目標		17件	17件	17件	18件
		実績	15件	12件	11件	11件	13件
②	緑化等に係る技術講習、養成講座の実施件数	目標		635件	640件	645件	650件
		実績	632件	651件	570件	453件	311件
③	外来生物の駆除活動（活動実施回数）	目標		36回	37回	37回	38回
		実績	35回	68回	28回	20回	23回
④	登録ボランティアの登録人数	目標		801人	805人	809人	813人
		実績	798人	790人	784人	798人	733人
○総括評価							
未達成							
【取組結果】							
評価	<p>大学や専門機関等の専門性を活かし、公園や市内水辺における生物多様性保全等に係る共同研究を推進し、その成果を公園管理や市民に還元している。</p> <p>緑化技術講習、養成講座について、団体の職員のほか、外部の専門家や研究者などを講師に招き、専門性の高い内容の講座も実施している。また、30年度から既存の講座を見直し、よりニーズの高い内容に集約したことから、29年度以前より件数が減じているなか、新型コロナウイルス感染防止に係る中止・自粛により、大幅な減少となった。</p> <p>外来生物に対して引き続き駆除活動を確実に実施した。28年度に駆除を集中的に実施した結果、30年度までは減少していたが、31年度以降は増加傾向にある。外来動物を含めて、今後も引き続き生物多様性保全とその普及啓発を高める工夫を期待したい。</p> <p>各公園・施設における市民協働を推進するため、植物管理等のボランティア活動を手厚くサポートし、市民の生涯教育、社会参加、生きがいの創出などにつなげているが、感染対策の影響から、ボランティアの参加が自粛された。</p>						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○新たな事業展開による団体の自立性の向上							
①	オンラインショップ収入額	目標		935千円	1,020千円	1,105千円	1,190千円
		実績	850千円	854千円	1,015千円	1,012千円	892千円
②	事業活動への寄附・協賛件数	目標		4件	4件	5件	5件
		実績	3件	5件	8件	5件	6件
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	<p>オンラインショップの収入は目標に達しなかったが、販売品の工夫や広報の強化を図り、増加させる余地がある。</p> <p>事業活動への寄附・協賛件数は景気の影響を免れないものの、HP等の周知により、安定した件数が維持されている。</p>						

(5) 団体統制

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○人材育成の見直し							
①	自己申告制度の導入	目標		調査・研究	機関決定	導入	導入済
		実績	-	導入	導入済	導入済	導入済
②		目標					
		実績					
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	団体における人材育成の一環として、自己申告及び目標管理による人事評価を導入している。また、採用時から中堅・マネージャー級・管理職に至る系統的な研修を計画・導入しており、業務執行能力の向上など人材育成に取り組んでいる。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○地元企業の受注機会の拡大							
①	入札要件の見直し	目標		検討・実施	実施済	実施済	実施済
		実績	-	案検討	実施済	実施済	実施済
②		目標					
		実績					
○総括評価							
達成							
【取組結果】							
評価	入札参加資格者は、原則として札幌市競争入札参加資格者名簿中の登録業者の中から、市内業者の選定を優先している。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	http://www.sapporo-park.or.jp
Eメールアドレス	info-park@sapporo-park.or.jp
【経営状況等】	■ 定款 ■ 役員名簿 ■ 団体機構図 ■ 事業計画書 ■ 予算書 ■ 事業報告書 ■ 決算書 ■ 中長期的な経営計画
【事業情報等】	■ 実施事業（イベント）情報 ■ 管理施設情報 ■ その他（求人情報）
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：「さっぽろ公園だより」～当該団体が管理する公園・施設のイベント情報を掲載し、利用促進を図っている。年4回発行、無料頒布。	

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和3年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) 都市緑化基金等事業

1. 事業概要	事業所管課：建設局みどりの推進部みどりの推進課	担当：伊藤	電話：011-211-2533
(1)事業内容	①都市緑化基金の造成（募金等による収入確保）及び事業収入の安定確保並びに適正な管理運用 ②さっぽろガーデンシティ活動支援事業 ・緑化思想の啓発事業（さっぽろ緑花園芸学校ほか） ・緑化活動ボランティア養成事業 ・市民活動支援事業 ・MINTO機構からの拠出金による支援事業 【市の関連事業名】 さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業などの業務委託に関する事業		市補助金 9,386 市委託料（一般競争入札） 14,991
(2)事業目的	札幌市都市緑化基金等を活用した民有地緑化、緑化推進に関する普及啓発、ガーデニングボランティア等の人材育成及びコミュニティの活性化等を図る事業を実施する。		
(3)事業開始	昭和59年(1984年) 9月1日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		19,567 (1.0 %)	28,274 (1.6 %)	(+8,707)
市補助金・交付金・負担金		3,154	9,386	(+6,232)	
市委務委託料		14,973	14,991	(+18)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入（補助金除く）		0	0	(0)	
その他収入		1,440	3,897	(+2,457)	
費用（支出）		20,259	20,062	(▲ 197)	
事業費		20,115	19,921	(▲ 194)	
管理費等		144	141	(▲ 3)	
収支差		▲ 692	8,212	(+8,904)	
収支比率		96.58%	140.93%	(+44.35%)	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①都市緑化基金への積立額		3,759千円	1,000千円	9,568千円	1,000千円
②植樹等による民有地緑化事業等		4回	4回	4回	4回
③都市緑化サポーターの養成事業		1事業	1事業	1事業	1事業
④緑化推進に関する普及・啓発事業		3事業	3事業	3事業	3事業
⑤さっぽろガーデンシティ活動事業助成の推進		1事業	1事業	1事業	1事業
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①都市緑化基金の目標額達成率（目標額5億円）		98.45%	98.65%	100.36%	83.80%
②記念樹プレゼント（苗木配布数）		217本	200本	168本	300本
③まちづくりガーデニング講座修了生		20人	20人	0人	8人
④さっぽろ緑と花のフォトコンテスト応募作品数		—	—	—	—
⑤さっぽろガーデンシティ活動事業助成実績		0団体	1団体	0団体	1団体
⑥キラリ！さっぽろ公園30選応募数		544点	550点	638点	600点

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 花や緑を通して地域や社会に貢献できるボランティア、都市緑化のサポーターを目指す市民にとっては他にない事業である「さっぽろまちづくりガーデニング講座」は、コロナ禍において受講者の安全な受講が困難との判断から年度途中で中止の判断を取った。しかし、ガーデニングボランティアの人材養成が着実に進んでおり、本市が都市緑化推進を図るにあたり、市民参加・協働の大きな柱となっている。この他「記念樹プレゼント」は、例年、春に行っていた事業を秋に延期するなどして実施し、市民の植樹機会の誘因など緑化の推進を図ることができた。また、事業の見直しを図ったフォトコンテスト事業はこれまで最多の応募があり、緑化啓発の一助を担うことができた。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 公益事業の役割を担うため、基金の利子（果実）に加え、収益事業の利益を助成の原資にするなどして、事業経費の確保に努めている。また、令和2年度に都市緑化基金の積立額目標であった5億円を達成し、次の目標額を明確にすることにより、さらなる事業運営の基盤となるような新たな目標を6億円に設定した。 今後も収支相償を満たすとともに、健全な収支の維持に努め、常に予算執行状況を把握しながら事業を執行していく必要がある。

事業評価 (2) 指定管理等公園施設事業

1. 事業概要	事業所管課：建設局みどりの推進部みどりの推進課	担当：伊藤	電話：011-211-2533
(1)事業内容	①以下の施設（大通公園など29公園及び札幌市豊平川さけ科学館）における指定管理者としての管理運営 1 大通公園、2 中島公園、3 豊平川緑地（上流地区）、4 円山公園、5 百合が原公園、6 モエレ沼公園、7 川下公園、8 北郷公園、9 豊平川緑地（下流地区）、10 厚別公園、11 豊平公園、12 平岡公園、13 清田南公園、14 平岡樹芸センター、15 農試公園、16 発寒西陵公園、17 手稲稲積公園、18 北発寒公園、19 前田公園、20 前田森林公園、21 星置公園、22 明日風公園、23 山口緑地、24 西岡公園、25 西岡中央公園、26 吉田川公園、27 創成川公園、28 旭山記念公園、29 札幌市豊平川さけ科学館、30 月寒公園 ②（指定管理者制度開始前） 地方自治法の管理委託制度による公園の管理運営		市補助金 市交付金 市委託料（一般競争入札）1,226,639
(2)事業目的	都市公園等の管理運営を通して公園緑地の保全と多様な利用、都市緑化の推進及びその普及啓発を図り、ソフト・ハード両面から利用者の総合的な満足度を向上させる。		
(3)事業開始	①平成18年(2006年)4月1日 ②昭和59年(1984年)年9月1日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,409,848	1,402,654	(▲ 7,194)
		(74.4 %)	(77.3 %)		
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	4,272	4,382	(+110)	
	市指定管理費	1,206,917	1,226,639	(+19,722)	
	市施設利用料金収入	154,151	111,733	(▲ 42,418)	
	自主事業収入(補助金除く)	36,424	33,796	(▲ 2,628)	
	その他収入	8,084	26,104	(+18,020)	
	費用(支出)	1,429,298	1,426,148	(▲ 3,150)	
	事業費	1,420,287	1,416,202	(▲ 4,085)	
	管理費等	9,011	9,946	(+935)	
	収支差	▲ 19,450	▲ 23,494	(▲ 4,044)	
	収支比率	98.64%	98.35%	(▲ 0.29%)	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	利用促進事業企画件数	323件	314件	174件	358件
②	緑化植物園展示会開催件数	52件	50件	19回	48回
③	利用者アンケート(公園の総合満足度)件数	4,357件	4,000件	2,433件	4,000件
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	利用料金収入	154,151	159,406	111,733	148,682
②	緑の相談件数(豊平公園)	18,611	22,000	14,694	22,000
③	緑化植物園展示会開催期間中の入館者数	164,653	136,500	64,744	125,840
④	利用者アンケート(公園の総合満足度)	92.38%	90%	92.15%	90%
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 利用促進の企画件数、展示は新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策に係る緊急事態宣言等に伴い、大型公園の閉鎖や屋内施設を休館したこと、また、宣言等解除の時期が常に不明確であったことから募集を行えず、中止の判断にいたり、目標に対する実績が大幅に下回った。 総合満足度は大幅な利用者減少に伴い、アンケートの件数は下回ったが、満足度は例年の高い数値を維持した結果となった。今後も満足度を維持・向上する取り組みを継続する必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 利用料金収入は、緊急事態宣言に伴う施設の休館や有料運動施設の利用中止、かつ、市民の利用自粛もあり前年から大幅に減少した。しかし、札幌市から利用料金相当額の補填もあり、収支差は前年度より約400万円程度の減であった。今後も、公益法人としての特殊性を踏まえつつ、収益事業からの繰入額に見合う予算執行が必要となる。

事業評価 (3) 公園施設等附帯収益事業

1. 事業概要	事業所管課：建設局みどりの推進部みどりの推進課	担当：伊藤	電話：011-211-2533
(1)事業内容	①売店の営業（営業場所は百合が原公園など16公園施設及びウェブサイト） 鉢花、花苗、園芸用品等の販売。 ②自動販売機の設置（川下公園など24公園施設） ③臨時売店、移動販売車の営業 （厚別公園など17公園施設での臨時売店、移動販売車など）		市補助金 市交付金 <small>市委託料（一般競争入札）</small>
(2)事業目的	公益事業を支えるために必要な収益事業の拡充・強化に努め、公園緑地・施設利用者の利便性とサービスの向上を図るため、公園施設等における便益事業を行う。		
(3)事業開始	昭和59年(1984年) 9月1日		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		81,251 (4.3 %)	44,331 (2.4 %)	(▲ 36,920)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入（補助金除く）	80,450	43,987	(▲ 36,463)	
	その他収入	801	344	(▲ 457)	
	費用（支出）	31,232	17,409	(▲ 13,823)	
	事業費	31,010	17,281	(▲ 13,729)	
	管理費等	222	128	(▲ 94)	
	収支差	50,019	26,922	(▲ 23,097)	
	収支比率	260.15%	254.64%	(▲ 5.51%)	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	各種教室の開催数（百合が原・豊平・川下公園）	250回	250回	73回	215回
②	臨時売店設置数	578回	600回	207回	600回
③	イベント満足度アンケート件数	1,984件	1,900件	1,975件	1,900件
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	売店収入	27,576	25,606	14,636	21,396
②	自動販売機・手数料収入	52,873	48,903	29,351	42,381
③	イベント事業等の参加者アンケート（満足度）	92.8%	92%	95.49%	92%
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない イベント参加者への満足度アンケートは、新型コロナウイルス感染防止に係るイベント等中止のためにサンプル数は減少したものの、引き続き高い水準を維持している。 コロナ禍においても、引き続き利用者への利便とサービス向上を図る取組みが重要である。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 売店収入、自動販売機等手数料ともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応のため、公園施設の閉鎖、休館に伴う常設売店の休業、臨時売店出店要請の取り止めなどにより、R2年度の目標を大きく下回った。とうきび販売は観光客の激減により売上が大幅に減少した。

事業評価 (4) 国営公園等受託事業

1. 事業概要	事業所管課：建設局みどりの推進部みどりの推進課	担当：伊藤	電話：011-211-2533
(1)事業内容	①国営滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務 (一般財団法人公園財団と共同で管理) <札幌市公園緑化協会担当> ・企画立案及びマネジメント業務 ・植物管理、施設管理、利雪 ・入園料の徴収等 ・利用者指導及び利用者サービス ・公園内巡視作業、安全管理、救急救護、防災計画、災害対策、緊急時対策、臨機の措置 ・環境への配慮 <一般財団法人公園財団担当> ・公園利用促進への取組(広報・行催事等) ・市民参加による公園運営 ・収益施設運営 ・自主事業		市補助金 市交付金
(2)事業目的	滝野すずらん丘陵公園運営維持管理業務の代表団体として、一般財団法人公園財団と連携しながら、全体のマネジメント及び各事業の企画立案・実施、植物や園内施設等の適正な管理を実施する。		
(3)事業開始	平成22年(2010年)4月1日		

2. 実施結果

(1)事業収支(単位千円)	項目	R1年度	R2年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		383,229 (20.2%)	348,990 (19.2%)	(▲34,239)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	383,229	348,990	(▲34,239)	
	費用(支出)	385,766	351,973	(▲33,793)	
	事業費	383,062	349,488	(▲33,574)	
	管理費等	2,704	2,485	(▲219)	
	収支差	▲2,537	▲2,983	(▲446)	
	収支比率	99.34%	99.15%	(▲0.19%)	
(2)活動指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	マスコミ報道件数	297	370	165	380
②	滝野の森における利用プログラムの開催回数(通年)	292			
③	利用プログラムの開催回数(通年)		380	271	385
(3)成果指標		R1年度実績	R2年度目標	R2年度実績	R3年度目標
①	利用者の確保(入園者数)	376,951	547,000	244,793	550,000
②	公園運営に関する利用者の「非常に満足」の回答比率(4~11月)	63.5%			
③	公園運営に関する利用者の「非常に満足」及び「まあまあ満足」の回答比率(12~3月)	97.8%			
④	公園運営に関する利用者の「非常に満足」及び「まあまあ満足」の回答比率(通年)		90.0%	96.2%	91.0%

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出ていない 夏季は、新型コロナウイルス感染防止としての臨時閉園及び園内へのヒグマ侵入による臨時閉園が重なり、開園期間の半分に近い97日間閉園していたため入園者目標を大きく下回る結果となった。 冬季についても、記録的な少雪が続く園内の雪を運搬集積するなどの対策を講じたにもかかわらずスキーゲレンデや歩くスキーコースなどが運営出来ない状況が1月中旬まで続いたことや、新型コロナウイルス感染防止対策のための外出自粛及びインバウンド激減の影響により、目標の入園者数達成に至らなかった。 国営公園を管理することで、外国人観光客への対応、災害時及び緊急時対応、地域連携による協働事業の推進などに関するノウハウを学び、他の公園施設の管理運営方法の改善に活かしている。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 臨時閉園が通算97日に及んだことによる大幅な利用者減、また、夏季のヒグマ侵入防止対策や冬季の少雪対策として雪運搬等を行ったこと等による費用増の課題を解決するため、今後も引き続き経費削減に取り組みつつ利用促進に努め、安定した運営基盤を構築することが必要である。

貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

公益財団法人札幌市公園緑化協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	99,815,655	100,575,080	△ 759,425
現金	2,510,655	1,911,170	599,485
小口現金	119,349	131,147	△ 11,798
普通預金	97,185,651	98,532,763	△ 1,347,112
未収金	49,016,232	36,116,129	12,900,103
売掛金	420,172	161,621	258,551
前払金	1,927,863	2,956,793	△ 1,028,930
預け金	9,500	9,000	500
貯蔵品	3,762,601	2,613,746	1,148,855
商品	8,010,523	8,348,375	△ 337,852
流動資産合計	162,962,546	150,780,744	12,181,802
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	39,898,438	39,898,438	0
定期預金	101,562	101,562	0
基本財産合計	40,000,000	40,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	119,551,012	124,621,085	△ 5,070,073
運営安定化積立資産	70,000,000	70,000,000	0
公益事業人件費対応準備資金	14,000,000	14,000,000	0
都市緑化基金引当資産	501,849,542	492,281,732	9,567,810
MINTO特定資産	3,848,510	3,848,510	0
特定資産合計	709,249,064	704,751,327	4,497,737
(3) その他固定資産			
建物	3,334,041	3,513,590	△ 179,549
建物附属設備	1,523,550	1,046,719	476,831
構築物	163,819	183,859	△ 20,040
車両運搬具	10	10	0
什器備品	1,716,125	1,993,467	△ 277,342
機械装置	2	2	0
リース資産(有形)	40,797,917	36,545,183	4,252,734
電話加入権	1,577,291	1,577,291	0
敷金	1,760,000	1,760,000	0
その他固定資産合計	50,872,755	46,620,121	4,252,634
固定資産合計	800,121,819	791,371,448	8,750,371
資産合計	963,084,365	942,152,192	20,932,173
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	111,691,066	92,303,738	19,387,328
前受金	1,817,560	865,080	952,480
買掛金	529,712	361,292	168,420
預り金	1,987,578	2,078,388	△ 90,810
リース債務	13,725,076	13,794,454	△ 69,378
賞与引当金	24,952,126	25,736,466	△ 784,340
未払法人税等	70,000	7,956,300	△ 7,886,300
未払消費税等	17,981,000	16,668,600	1,312,400
流動負債合計	172,754,118	159,764,318	12,989,800
2. 固定負債			
退職給付引当金	119,551,012	124,621,085	△ 5,070,073
長期リース債務	25,794,554	21,552,044	4,242,510
固定負債合計	145,345,566	146,173,129	△ 827,563
負債合計	318,099,684	305,937,447	12,162,237
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	40,000,000	40,000,000	0
基金積立補助金	468,827,294	459,441,294	9,386,000
基金積立寄付金	33,022,248	32,840,438	181,810
MINTO助成金	3,848,510	3,848,510	0
指定正味財産合計	545,698,052	536,130,242	9,567,810
(うち基本財産への充当額)	40,000,000	40,000,000	0
(うち都市緑化基金への充当額)	501,849,542	492,281,732	9,567,810
(うち特定資産への充当額)	3,848,510	3,848,510	0
2. 一般正味財産			
その他一般正味財産	99,286,629	100,084,503	△ 797,874
一般正味財産合計	99,286,629	100,084,503	△ 797,874
(うち特定資産への充当額)	84,000,000	84,000,000	0
正味財産合計	644,984,681	636,214,745	8,769,936
負債及び正味財産合計	963,084,365	942,152,192	20,932,173

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益財団法人札幌市公園緑化協会

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	44,013	84,007	△ 39,994
基本財産受取利息	44,013	84,007	△ 39,994
特定資産運用益	3,870,145	3,860,086	10,059
特定資産受取利息	36,517	55,865	△ 19,348
都市緑化基金受取利息	3,563,628	3,504,221	59,407
特定資産受取配当金	270,000	300,000	△ 30,000
事業収益	1,785,886,832	1,883,440,566	△ 97,553,734
指定管理費収益	1,226,639,123	1,206,917,000	19,722,123
利用料金収益	111,733,268	154,151,266	△ 42,417,998
委託事業収益	369,732,165	405,197,962	△ 35,465,797
イベント事業収益	3,194,820	6,138,440	△ 2,943,620
受講料収益	12,400,020	14,193,855	△ 1,793,835
売店収益	14,635,712	27,576,451	△ 12,940,739
監査収益	18,200,832	16,392,180	1,808,652
手数料収益	29,350,882	52,873,412	△ 23,522,520
受取補助金等	856,000	1,756,632	△ 900,632
受取地方公共団体助成金	0	160,000	△ 160,000
受取民間助成金	856,000	1,596,632	△ 740,632
受取寄付金	365,887	1,739,117	△ 1,373,230
緑の募金	281,106	257,783	23,312
受取寄付金	84,782	1,481,324	△ 1,396,542
雑収益	23,951,385	3,996,621	19,954,764
受取利息	57	392	△ 335
広告収益	240,000	393,154	△ 153,154
雑収益	23,600,628	2,627,275	20,973,353
経常収益計	1,814,863,362	1,893,895,229	△ 79,031,867
(2) 経常費用			
事業費	1,802,780,608	1,853,491,580	△ 50,710,972
役員報酬	7,598,592	2,702,592	4,896,000
給料	228,827,243	226,784,122	2,043,121
雑手当	107,713,161	107,831,243	△ 118,082
超過勤務手当	21,222,000	27,319,703	△ 6,097,623
退職給付費用	14,394,416	8,769,945	5,624,471
退職金引当繰入	9,614,166	11,573,327	△ 1,959,161
法定福利費	64,106,766	64,347,671	△ 240,905
福利厚生費	1,936,449	2,082,404	△ 145,955
賞金	290,181,234	304,740,192	△ 14,558,958
賞金・法定福利費	33,966,013	35,296,844	△ 1,290,831
賞金・福利厚生費	338,693	478,900	△ 140,207
商品仕入費	5,908,596	13,102,126	△ 7,193,530
旅費交通費	300,969	1,666,811	△ 1,365,842
通信運搬費	10,878,043	8,451,089	2,426,954
減価償却費	13,431,348	12,754,012	677,336
什器備品費	24,340,995	14,673,000	9,667,995
消耗品費	84,343,745	68,392,977	15,950,768
備品購入費	8,187,984	4,445,901	3,742,083
修繕費	54,783,196	50,191,242	4,591,954
原材料費	22,380,650	20,781,630	1,599,020
印刷製本費	2,404,904	2,240,266	164,638
被服費	2,753,178	3,040,014	△ 286,836
燃料費	25,180,124	28,421,375	△ 3,241,251
光熱水費	163,589,778	187,321,653	△ 23,731,875
賃借料	35,879,307	33,760,407	2,118,900
保険料	7,987,368	7,482,977	504,391
雑謝金	5,187,729	5,815,925	△ 628,196
報酬費	6,621,935	7,038,655	△ 416,720
租税公課	78,759,951	72,404,323	6,355,628
支払負担金	15,456,586	17,359,887	△ 1,903,301
支払寄付金	2,000,000	3,402,227	△ 1,402,227
委託費	412,852,231	453,060,923	△ 40,208,692
ソフトウェア使用料	2,785,816	3,363,225	△ 577,409
広告宣伝費	3,422,427	5,483,180	△ 2,060,753
支払手数料	3,699,625	3,668,809	△ 169,184
交際費	0	22,750	△ 22,750
報償費	135,788	275,539	△ 139,751
支払利息	537,077	624,036	△ 86,959
講習・研修費	1,457,552	2,337,612	△ 880,060
雑費	2,814,916	4,811,050	△ 1,996,134
賞与引当金繰入	24,789,977	25,510,015	△ 720,038
管理費	12,810,819	13,062,565	△ 251,746
役員報酬	3,651,808	1,518,808	2,133,000
給料	1,260,783	1,677,200	△ 416,417
雑手当	558,996	1,284,071	△ 725,075
超過勤務手当	59,415	133,983	△ 74,568
退職給付費用	158,580	76,486	82,122
退職金引当繰入	35,907	83,600	△ 47,693
法定福利費	691,195	843,184	△ 151,989
福利厚生費	55,522	126,701	△ 71,179
賞金	165,335	365,008	△ 199,673
賞金・法定福利費	10,805	42,053	△ 31,248
賞金・福利厚生費	482	2,021	△ 1,529
旅費交通費	84,242	12,785	△ 12,543
通信運搬費	36,932	47,117	△ 10,185
減価償却費	4,621,699	4,698,335	△ 76,636
什器備品費	46,797	49,435	△ 2,638
消耗品費	54,386	67,113	△ 12,727
備品購入費	9,996	9,782	214
修繕費	5,965	5,135	850
印刷製本費	3,875	2,871	1,004
被服費	718	2,178	△ 1,460
燃料費	3,979	5,069	△ 1,090
光熱水費	66,192	78,349	△ 12,157
賃借料	413,041	591,220	△ 178,179
保険料	3,565	3,955	△ 450
雑謝金	154,000	204,300	△ 50,300
報酬費	0	58,212	△ 58,212
租税公課	18,249	31,977	△ 13,728
支払負担金	24,513	80,120	△ 55,607
委託費	254,468	254,058	410
ソフトウェア使用料	39,300	23,984	15,316
広告宣伝費	34,997	86,192	△ 51,195
支払手数料	180,604	252,663	△ 72,059
交際費	0	38,450	△ 38,450
支払利息	7,747	14,415	△ 6,668
講習・研修費	4,088	14,494	△ 10,406
雑費	14,439	50,858	△ 36,419
賞与引当金繰入	162,149	226,451	△ 64,302
経常費用計	1,815,591,427	1,866,554,145	△ 50,962,718
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 727,865	27,341,084	△ 28,068,949
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 727,865	27,341,084	△ 28,068,949
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	9	0	9
什器備品売却損	0	0	0
その他経常外費用	0	89,255	△ 89,255
固定資産売却損	0	89,255	△ 89,255
経常外費用計	9	89,255	△ 89,246
当期経常外増減額	△ 9	△ 89,255	89,246
税引前当期一般正味財産増減額	△ 727,874	27,251,829	△ 27,979,703
法人税・住民税及び事業税	70,000	7,956,390	△ 7,886,390
当期一般正味財産増減額	△ 797,874	19,295,529	△ 20,093,403
前期一般正味財産増減額	100,084,503	80,788,974	19,295,529
一般正味財産増減高	99,286,629	100,084,503	△ 797,874
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	9,567,810	3,759,447	5,808,363
都市緑化基金積立補助金	9,386,000	3,154,274	6,231,726
都市緑化基金積立寄付金	181,810	605,173	△ 423,363
当期指定正味財産増減額	9,567,810	3,759,447	5,808,363
指定正味財産期首残高	536,130,242	532,370,795	3,759,447
指定正味財産期末残高	545,698,052	536,130,242	9,567,810
III 正味財産期末残高	644,984,681	636,214,745	8,769,936